

個別施設計画

策定年月 | R3.1

施設名	井笠家畜保健衛生所			所在地	小田郡矢掛町浅海345		
敷地面積	3,709.00 m ²			棟数	9 棟 (計画記載対象 8 棟)		
延床面積	644.95 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	地方における家畜衛生の向上を図り、畜産の振興に資するため、家畜保健衛生所法第1条に基づき設置された家畜保健衛生所で、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町の8市町を所管する。						
【想定される自然災害】							
予想震度		6強	津波		—	浸水	
建築規制		非線引都市計画区域 用途地域指定なし 建ぺい率60% 容積率200%					
エネルギー使用量 (2019年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	22,907 kwh	25 m ³	298 m ³	687 ℓ			
管理上の特記事項	敷地内未利用地なし 敷地内貸付地なし 災害対策基本法及び岡山県災害対策本部条例に基づく地方災害対策本部の家畜衛生部						

1 施設内建物の概況

名称	本館	研修室・車庫	更衣室・倉庫
築年(西暦)	1967年	1989年	1967年
構造	コンクリートブロック造 1階	軽量鉄骨造 2階	木造 1階
建築面積	217.68 m ²	90.72 m ²	85.29 m ²
延床面積	217.68 m ²	181.44 m ²	85.29 m ²
主要な用途 (室名等)	執務室 2室 92.64m ² 検査室 3室 87.20m ² 倉庫 1室 20.35m ²	会議室 1室 71.20m ² 車庫 1室 58.32m ² 倉庫 1室 32.40m ²	更衣室 2室 33.12m ² 倉庫 2室 52.17m ²
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	給排水設備	給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	不明	有	不明
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果I_b値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	解剖室	車 庫	車庫(プレハブ)
築年(西暦)	1967 年	1984 年	2015 年
構 造	コンクリートブロック 造 1 階	鉄骨 造 1 階	軽量鉄骨 造 1 階
建築面積	26.74 m ²	55.00 m ²	16.74 m ²
延床面積	26.74 m ²	55.00 m ²	16.74 m ²
主要な用途 (室名等)	解剖室 1室 26.74m ²	車 庫 1棟 55.00m ²	車 庫 1棟 16.74m ²
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備		
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	不明	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	プロパン庫	動物飼育室
築年(西暦)	1967 年	1967 年
構 造	コンクリートブロック 造 1 階	コンクリートブロック 造 1 階
建築面積	1.08 m ²	11.85 m ²
延床面積	1.08 m ²	11.85 m ²
主要な用途 (室名等)	プロパン庫 1棟 1.08m ²	特別管理産廃保管 11.85m ²
主要な設備 (屋外を含む)		
利用状況	高	低
耐震性 ※1	不明	不明
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—
	中性化 ※3	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

未耐震建築物や老朽化の進んでいる建物(設備を含む)について建替を行う。
プロパン庫、動物飼育室は、劣化が著しく活用困難なため取り壊す。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	・ 建替を行う。
研修室・車庫	・ 研修室は本館に統合し、車庫は建替を行う。
更衣室・倉庫	・ 更衣室は本館に統合し、倉庫は建替を行う。
解剖室	・ 建替を行う。
車庫	・ 建替を行う。
車庫(プレハブ)	・ 建替を行う。
プロパン庫	・ 老朽化が進んでおり、プロパンガスボンベは本館横に設置するため取り壊す。
動物飼育室	・ 老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R5.1	施設全体のスケジュール変更
R8.1	プロパン庫・動物飼育室除却のスケジュール変更